

<p>施策名</p>	<p>大 事 項 中 事 項 小 事 項</p>	<p>地球温暖化対策に対する取り組み 環境負荷の小さい交通体系の構築 物流の効率化等 [内航海運の省エネ・効率化]</p>	<p>海事振興部</p>
<p>施策の概要</p>	<p>電気推進システムを採用し、二酸化炭素排出量低減などの環境負荷低減や物流効率化が図られている「スーパーエコシップ（SES）」や1990年代初頭の船舶と比較してトンマイル当たりの二酸化炭素排出量を16%以上低減化できる「先進二酸化炭素低減化船」などの省エネ内航船の建造促進等を支援し、内航海運のグリーン化を推進する。</p> <p>くわえて船舶管理会社を活用したグループ化など内航海運活性化対策を推進し、内航海運の競争力を高める。</p>		
<p>28年度の計画</p>	<p>「船舶共有建造制度」、「船舶特別償却制度」及び「環境共創イニシアチブによる補助」などの活用について、広く情報発信を進めていく。</p> <p>また、「内航海運における船舶管理ガイドライン」などを活用し、船舶管理会社の認知度向上のための取組を進めていく。</p>		
<p>27年度の実績と評価</p>	<p>SESの就航については、平成28年3月現在で旅客船4隻、貨物船21隻の計25隻が就航しており、九州管内においても旅客フェリーのリプレイスを契機とした省エネ効率化船舶の導入が図られている。</p> <div data-bbox="922 1061 1362 1355" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">桜島フェリー「第二桜島丸」</p> <p>先進二酸化炭素低減化船については、499トン型一般貨物船以外にも新たに5000kl型タンカー、7000DW型セメント船、13,000トン型カーフェリー等が認定され、平成22年11月の1番船以来、平成28年2月現在までに18隻が竣工している。新たに認定された3つの船舶の船型については、いずれも九州管内の造船所において建造されている。</p> <p>平成27年度九州運輸局環境保全及び交通バリアフリー等関係者表彰において、環境に配慮した船舶の建造、導入により内航船社1者を九州運輸局長表彰。</p>		